



Personal MBA

黒田インターナショナルコンサルティングLLC

黒田 毅

企業においてもっとも価値を有するのは、企業倫理性である。その後はその結果として利益を求められる。

行動は必ず結果を生む。効率性の追求は、それをより優れたものとするのである。

企業製品が企業を決定するのである。そのため開発環境が企業を与えるものである。

時代への挑戦は、その先端性への到達である。

一つ一つの努力を実現することは、正しい方向性における企業経営を求めるのである。

ウサギと亀という寓話は、決して幻でない。遅々たる歩みにおいて、その頂点に至ることは存在するのである。

時代を理解することが、時代に準じた企業経営を与えるのである。

企業経営において結果がすべてである。そのため合理的な判断がこれを与えるのである。

可能性を否定することは、未来を否定することである。



経営は、現実を与えるものであり、正しい判断が唯一生き残りを得るのである。

堅実さと誠実さは、必ず正しい歩みを得るのである。

先端性は未来に至るカギである。